

平成28年度 可児市水道事業会計当初予算編成の基本方針

1 水道事業の運営方針

「安全・安心な水道水を安定的に供給する」

計画的な施設整備と水質管理の向上を図り、安全・安心な水道水を安定的に供給します。

経費の節減に努め、経営基盤を強化します。

- 〔経営基盤の強化〕・建設コストの縮減や経常経費の節減（窓口・徴収業務などの民間委託、資産運用、県営水道からの受水量管理）などによる経営効率化の推進
- 〔水道施設の整備更新〕・水道施設の計画的な更新整備、配水区域の再編整備などによる安定した水道水の確保
 - ・水道施設及び水道管路の耐震化の計画的な推進
- 〔水質管理及び災害対策〕・水安全計画に基づくより高いレベルでの供給水質の確保
 - ・災害時における危機管理体制の構築と飲料水の確保

2 平成28年度当初予算編成の基本方針

平成27年7月23日付け「平成28年度当初予算編成について」で示された、「平成28年度の市政の運営方針」と「平成28年度予算編成の基本方針」に基づき、重点事業点検報告書による検証(自己点検)を実施するとともに、先を見据えた計画的な予算を編成します。

さらに下記重点事業を推進し、水道事業の運営方針に定めるとおり、安全・安心な水道水の安定的な供給に堅実に取り組みます。

〔重点事業〕(可児市政4つの柱と重点事業の一つ「“まち”の安全づくり」への貢献事業)

ライフライン機能強化等事業

耐震性能が劣る配水場・ポンプ場については、平成26年度から平成31年度までに耐震補強工事を実施する。
基幹管路（送水管、配水本管）については、平成26年度から平成43年度までに布設替工事を実施して耐震化を図る。
これにより、近い将来発生が予想される東海・東南海地震等の大規模地震の影響被害を最小限に食い止めることができ、被災時における応急給水体制の強化を図ることができる。

平成28年度実施事業

- ・中区配水場耐震補強修繕その1工事
- ・虹ヶ丘ポンプ場耐震補強修繕工事
- ・第2低区系送水管布設替工事
- ・長洞～光陽台送水管実施設計業務

鳩吹台・虹ヶ丘配水ブロック統合整備事業

耐震性能が劣る鳩吹台配水池を廃止し、鳩吹台配水ブロックを隣接する虹ヶ丘配水ブロックに統合するために、鳩吹台と虹ヶ丘を結ぶ配水連絡管を整備するとともに、虹ヶ丘に新配水池を建設する。

これにより、近い将来発生が予想される東海・東南海地震等の大規模地震における応急給水体制の強化を図ることができる。合わせて、配水池を集約することにより中長期にわたる維持管理費が低減でき、水道事業の安定経営にも寄与できる。

平成28年度実施事業

- ・虹ヶ丘配水池建設工事